

東シナ海の雲

宮之浦岳・開聞岳登頂記

その・5 (最終回)

薩摩半島最南端の 河合依代

秀麗な独立峰、薩摩富士へ

第5日目 5月3日(月) 晴れ

起床・出発6:50～登山口7:10～開聞山麓自然公園分岐7:25～川尻歩道出合
8:18～開聞岳山頂 8:54～民宿・ひらきき荘10:55/11:30 ⇨喜入町道の駅(風呂)
12:00 ⇨鹿児島空港発18:36 ⇨~~羽田~~⇨羽田空港着20:10 ~~東京~~東京駅21:49
三島 22:31

- CL・アルコール隆徳 (52) 開聞岳は素晴らしい。旅の最後に相応しい山。
- 記録・公爵(講釈)元男 (62) 海岸線が美しい。座った儘360°の展望だ。
- 難・シーラーカンス勝己(31) 開聞岳は富士山の形。富士山も緑の山になって。
- 険・縄文杉八千代 (61) おまけの山はおまけ以上の山だった。
- SL・ビッグホーン秀子 (50) 渦巻状に登る面白い山。頂上の展望は最高。
- 鮎・日の出の博子 (50) 海景色を見ながらの登りは楽しい。
- 鮎・カメレオン依代 (52) 海を眺めながらの登りは気持ち良い。満足。
- 針・ウルル歌子 (55) 開聞岳から桜島が見えなくてちょっぴり残念。

朝食前に開聞岳と密接な関わりのある、開聞(ひらき)神社に参拝に出掛けた。開聞神社は大日貴命(おおひるのむちのみこと)を主神とし薩摩一の宮といわれ、社宝の玉手箱は国の重要文化財になっている。昨夜来、鼻が詰まり、喉に痰が絡んでスッキリしない。登れるかな?と思いながら、朝食を済ませ民宿を出発した。

開聞町役場を右折すると坂道となる。中学校前を通り更に、舗装された道を正面に開聞岳を見ながら歩くと、左側に天ノ岩戸と称する小社がある。此処からはコンクリート道となり暫く行くと登山口だ。此処までは土の上を歩くのとは異なり勾配もあり、結構きつく歩きにくかった。

いよいよ開聞岳への登りとなる。ハイキングには手頃な山と見え、子供やお年寄り、犬を連れた家族、ハイキンググループ、登山グループ等、朝早くから頂上を目

指して歩いている。私も登山口で誰かが捨てたと思われる、杖となる手頃な棒を拾い皆と一緒にスタートしたが……。流石S隊。見る見るうちに、会長、加藤、大根田の姿が消えた。辛うじて来生、高岡の背中を見ながらついて行ったが、その姿もやがては消え、時々加藤らしき声が遙か彼方から聞こえた。

今日の私の出で立ちはジーパンにトレッキングシューズと、ずぶの素人のハイキングスタイルで、汗ばむとジーパンが足に絡み股が上がらない。足元は滑り、踏ん張れない。歩きにくいいたらありゃしない。やはり、どんなに低い山でも、登山靴に、せめてジャージのズボンでなければと反省。歌子と山本が後から来る筈なのに振り向くが姿が見えない。歌子の調子が悪く山本が付いてくれているようだ。

開聞岳は渦巻状に巻きながら登って行く。下の方は木立に遮られて展望はない。時々後を振り返り歌子を気にしながら歩く。四合目で少し左が開け、池田湖が見えた。五合目に近づく頃、振り向くと後に姿が見えた。歌子の調子も出てきたようだ。二人と合流し五合目で休憩。水分補給。木立の切れ間に、下界の見える展望所があり、此処からは長崎鼻方面が眺められた。所々に、木の梯子や岩場が多くなると、人の数も多くなり、前がつかえ思うように進めない。梯子を見ては巧くすり抜け前進。道が狭いので下山者とは、互いに譲り合い登って行くので時間がかかる。

七合目辺りから木立も低くなり、視界も開け海を見下ろせる。汗ばんだ身体に海風は心地良い。此処は二重式火山の外輪壁にあたる所で、岩がゴロゴロした道となる。大きな岩の上を歩いたり、じめじめした湿地帯を過ぎると八合目だった。頂上まであと少しだ。先に行った連中は、とっくに頂上に着いているだろう。

急坂を登り、九合目の灌木帯を抜けると穎娃（えい）の海岸や、池田湖が見下ろせる。右へ回り込んで行くと堆積した岩の斜面に出た。此処を登ると頂上らしい。上から加藤の声が聞こえた。声のする方に登って行くと『あっ！来た。来た。早かったじゃん』と加藤。『早かったね。私達も一寸前に着いたんだよ』と高岡。先発隊にそれぞれ声を掛けてもらい、歓迎を受け感極まる。何とか皆のいるうちに登る事ができ頂上での全員の記念写真にも、おさまる事ができて本当に良かった。

頂上は風が強く、暫くいると寒くなってきた。先発隊は記念写真を撮ると先に下山した。私達3人は残り、開聞岳を堪能する事にした。開聞岳山頂は大きな岩だらけで、開聞神社奥の宮の祠がある。360°の展望は素晴らしい。昨日までいた屋久島まで見える事があるそうだ。確か屋久島の永田岳から、此の開聞岳を眺めた事を思い出した。今日は天候があまり良くないので、桜島さえ見えない。歌子もガッ

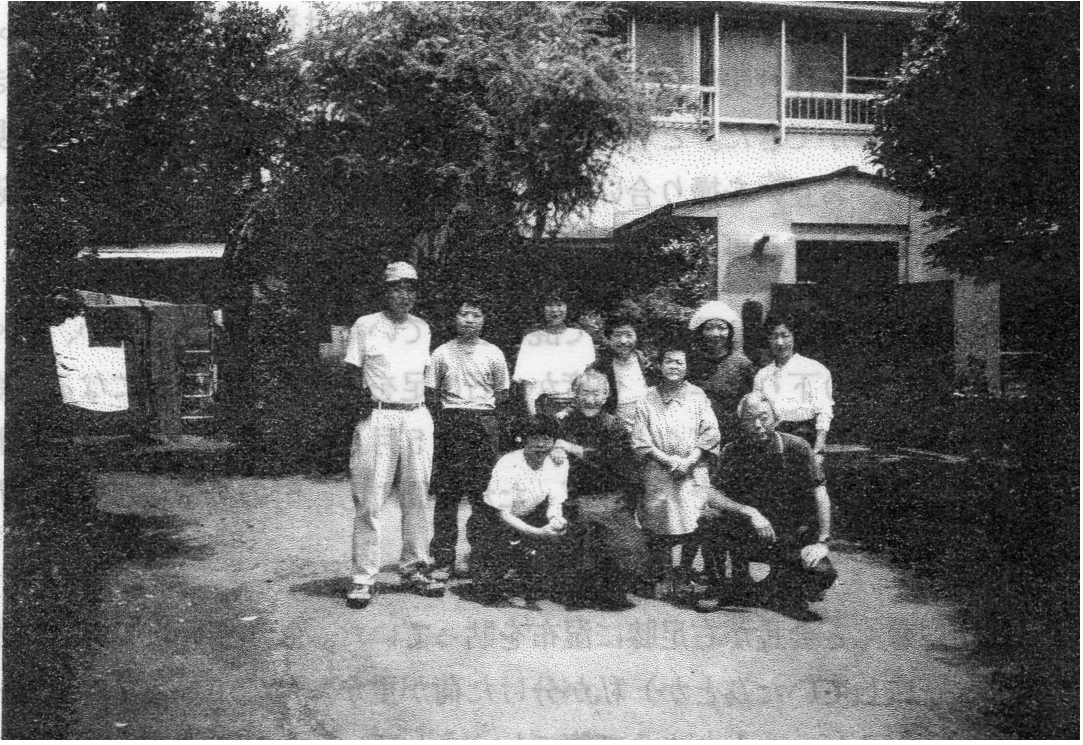


上。最終日のおまけ
の開聞岳に向かう。
ザクも軽しい足取
も軽い。

中。開聞岳山頂に
て。ジツとしていると
寒かった。顔の表
小青が固い。

下。東方向に鹿野島
湾と大隈半島望む!

真喜念請
 民オの会
 困憐るえ見
 ひるるは星
 みむひせ
 五口山登
 不。るせ
 荷者知は
 速。事ハ
 開ひ昔さ



上 雙る。雙らしい美代子
 さんの立姿。特に足に
 注目。いいんだな〜。

富士山の形。そのまんまの南嶽。下
 何故か、なつかしくホッとす
 る山だった。

二、遙かにかすむは 永良部島
 波間に浮ぶ 浜千鳥
 泣いて別れた あの人
 は 今は何処の 波の上

一、屋久島エレジー
 波風荒き 屋久の島
 通う船は 数あれど
 主さん乗せた あの船は
 無事に鹿兒島 着けばよい

後藤会長様

おめでとう。屋久島。快晴の山行。おめでとう。
これも5周年記念の山行。荒船山。黒山。お
おめでとう。最後の中心地。連続山行も
おめでとう。おめでとう。

おめでとう

会員からの
お祝い
メッセー

【メモ用紙】

会長様

御着

屋久島登山成功の目玉の山行です。お天気に恵まれて
早く。何れかの喜ぶ。皆様の日頃の努力の発揮。留守組
としてこの山の励みになります。

例会の出席。週末の多忙で登山行に参加出来ず
と残り山に思っています。飯塚工場のお土産。支那
富士山。今週筑出〜復讐にまわっています。

6月11日〜13日 寺内山。浅草山へ参加させていただけ
にFAXさせて頂戴しました。カッターの声を聞いて
士気を高めた。おめでとう。おめでとう。

後藤様

おめでとう

屋久島。南南岳。登山おめでとう
おめでとう。
日頃の努力の成果で全員登山でき
なによりでした。

こちらも2日間とも天気よく全登山頂
に登ることができ。ホテルも小諸の
夜更を見ながらのナイフとホフの食事
でした。

何かと心遣いいただきありがとうございます
おめでとう。

皆のおかげで全員
無事帰る事ができました。
有難うございました。
FAX and 声がとて嬉し！
やっぱり仲間っていいな。
会いたかったヨ〜。

後藤会長

河口 千代子

水落

快晴のもと 宮之南岳 登山おめでとう

おめでとう。A隊も天候に恵まれ楽しい山行ができました。

予想はしていたものの渋滞にはまっています。

先日 園芸を通じて 支那の山行。一般会計分 (17247)

は 何の支那でしょうか。教えてください。

今後収書は 次は含みます。おめでとう。

アルコール、公爵、
シーラカンス、縄文杉、
ビッグホーン、日の出、
カメレオン、ウルル



